



ジェームスL. レイシー

## プロフィール

ジェームスL. レイシー

米国・テネシー州

クックヴィル・ロータリー・クラブ

1994-97年度ロータリー財団管理委員会委員

1988-90年度国際ロータリー理事

略 歴 アメリカ、テネシー州 クックヴィル・ロータリークラブ  
製菓会社 ギリアム・キャンデー株式会社 取締役理事長  
1964年以來のロータリアンで、国際ロータリー理事

国際協議会討論リーダー

1991 国際協議会副モデレーター

1992 国際協議会モデレーター

1994-95 国際ロータリー会長指名委員会委員

国際ロータリー財団管理委員会

令夫人は、クロードンさん

## ジェームスL. レイシー会長からのメッセージ

### ロータリアンの皆さん

私達は、思いやりの心あればこそ、ロータリアンになりました。私達は他の人々のことを心にかけています。地域社会のことを心にかけています。私達の住む世界のことを心にかけています。ロータリアンはどこで顔を合わせても、常に社会と隣人に対する配慮という点で一つに結ばれているのです。一地元であろうと、地球の裏側であろうと一この世で生き抜き、成功しようと悪戦苦闘している同じ人類家族の一人一人に思いをはせています。多くの人々が、貧乏、不健康、栄養失調、劣悪な衛生居住環境というような恐るべき問題に悩まされているのです。また、仕事を見つけるのに必要な教育や研修を受けられない同胞もいます。さらにまた、薬物濫用、アルコール過飲、家庭崩壊その他の原因で派生する犯罪や暴力に見舞われ、騒乱に明け暮れる社会に住んでいる人々もいます。

私達は世界の子供達を愛し、心にかけています：あまりにも多くの子供達が、利用され、見捨てられ、ないがしろにされています。高齢者のことも気がかりです：高齢者の多くは、社会の片隅に追いやられているのです。

ロータリアンは、社会の心配事で心が結ばれていると同時に、私達の夢でもまた心をつなげています。私達は、子供達が愛され、健康で、十分栄養を与えられ、教育を受け、保護される世界を夢見ます。また、高齢者が、それにふさわしい尊敬と支援を受け、威信を保って生きられる世界を夢見ます。飢えた人すべてに食糧を、泣き叫ぶ人々の声には聴く耳を、病める人には等しく慰めと癒しを…そんな世界を夢見ます。すべての人々が教育と品位ある仕事に恵まれる夢：戦争も暴力もない世界という夢：これがロータリーの夢なのです。



しかし、私達ロータリアンは、単なる夢想家ではありません。私達は、心を一つにして手を携え、この夢を現実のものにすべく想いを練っている建設者なのです。私達は、世界中28,000余のクラブに身をおいていますが、それぞれ人々の生活を改善する力を持つ思いやりのある献身的な地域社会の一員です。私達は地域のニーズを確認します：斬新な解決策を見つけ出します：時間と資金を提供します：ニーズに応じて生活の質を高めるため、先ずしなければならぬことに率先行動を起こします。

私達は、ほぼ100年にわたる草の根レベルの奉仕活動を通じて、私達の力を立派に示してきました。インドのアイ・キャンプ、メキシコの診療所、米国の高齢者向け住宅など数々の人道的プロジェクトを通じて、私達は、日夜を問わず、世界をよりよくするために力を尽くしています。もう一つの見本がポリオ・プラス・プログラムです。ポリオ・プラス・プログラムは、国際的機関と協力して、既に10億人以上の子供をポリオから守ってきました。

公正と品位の原則、世界理解と平和、というはるかかなたの目標に向かって世界を変えていく天の導きと能力を私達は持っています。実際のところ、あらゆる問題を私達が解決できるというわけではありません。しかし、ロータリアンたる者、苦しみ悩む者の痛みを和らげ、すべての人々がある程度の品位ある生活ができるよう、手を差し伸べることもせず見過ごすことなどいささかもできません。

ロータリアンは、93年の歴史を通じて、よりよい生活の実現という夢を抱いて成功してきたことを誇りにしてよいでしょう。しかし、未来に目を向ければ、すべての人々にとってこの世界が安住の地となるために、なお成すべきことがあまりにも沢山あるのです。

ロータリアンの皆さん、1998-99年度、私達はさらに新しい夢を抱き、それを現実のものにするために力を尽くさねばなりません。この年、私と一緒に新しい世紀、即ち新千年期に向かって旅立ちましょう。ロータリーの夢を追い続けよう—新しい世界を築きましょう。

ジェームスL・レイシー  
1998-99年度RI会長